

令和8年度 山梨県立特別支援学校うぐいすの杜学園
第2回学校運営協議会議事録

日時：令和8年7月23日（木）15:30～17:00

場所：特別支援学校うぐいすの杜学園 メディアルーム

第2回 学校運営協議会

進行：教頭

- 1 はじめの言葉
- 2 学校長挨拶
- 3 議事【議長：会長】
 - (1) 学校からの報告
 - ・地域防災及び「学校だより」の進捗状況について……資料①
 - ・1学期の行事等の様子について（地域交流含む）
 - ・いじめに関するアンケート結果について ……………資料②
 - ・児童生徒アンケート
 - 「楽しい学校にするためのアンケート」について…資料③
 - (2) 学校運営協議会委員からのご意見…資料
 - ・いじめ（暴力行為）に対する生徒指導等について……資料④
 - ・質の高い教育のための環境整備について
 - (3) 2学期にむけて
 - ・うぐいす祭等、学校行事について
 - (4) その他
- 4 連絡事項
 - (1) 今後の予定

第6回うぐいす祭	10月30日（金）10:30～
第3回学校運営協議会	11月19日（木）15:30～
学校評価書面締め切り	2月 8日（月）まで
第4回学校運営協議会	2月18日（木）15:30～
 - (2) その他
- 5 意見・懇談（各委員の方々から）
- 6 閉会の言葉

出席者：7名出席（事務長欠席）（生徒指導主事が報告のみ出席）

1. はじめの言葉
 - ・定刻どおり、第2回学校運営協議会を開会した。
2. 学校長挨拶
 - ・1学期が終了し、児童生徒は校外学習、修学旅行、地域交流など様々な経験を積み重ねることができた。
 - ・学校運営協議会での意見を受け、学校だよりの回覧範囲を住吉地区へ拡大した。
 - ・ホームページに児童生徒による学校紹介コーナーを設ける予定である。

- ・愛着理論に基づく支援を継続するとともに、長期不登校を経験した児童生徒への支援研究を進めている。
- ・地域や関係機関との連携を深めながら、より良い学校づくりを進めていきたい。

3. 議事

(1) 学校からの報告

①地域防災および学校だよりの進捗状況について

<報告内容>

- ・開校当初に地域から学校体育館を避難所として活用したいとの要望があり、甲府市と連携を進めた。令和7年度に自治会及び甲府市関係者との打合せを実施し、施設見学や運営マニュアルの確認を行った。
- ・体育館へのエアコン整備については、令和8年度設計、令和9年度工事、令和10年度利用開始の予定である。
- ・学校運営協議会での意見を受け、住吉地区自治会への学校だより回覧を開始した。
- ・学校だよりやホームページを活用し、地域への情報発信を強化していく。

<主な意見等>

- ・体育館へのエアコン整備は避難所機能向上の観点からも有効であり、早期整備を期待する。
- ・学校だよりに、ホームページへとべるQRコードを掲載すると学校理解がさらに進むのではないかと。
- ・地域交流の花壇活動等が地域住民からも好評である。

②1学期の行事等の様子について

教頭より、小学部・中学部の活動写真及びスライドを用いて報告が行われた。

<報告内容>

- ・校外学習、クラブ活動、委員会活動、地域交流活動等の様子を紹介した。
- ・修学旅行や学習活動を通じて児童生徒の成長が見られた。
- ・転入生も含め、安心して学校生活を送れるようになり、表情や活動意欲に大きな変化が見られている。

<主な感想>

- ・児童生徒の自然な笑顔や成長の様子がよく伝わった。
- ・写真や動画から、学校が安心できる居場所となっていることが感じられた。

③いじめに関するアンケート結果について

<報告内容>

- ・第1回調査期間中のいじめ認知件数は5件。重大事態は0件。
- ・発見のきっかけはアンケート調査3件、関係機関からの情報2件。
- ・主な内容は暴言・からかい、身体的接触、仲間外れ等である。
- ・5件中1件は解消、4件は継続支援中。
- ・学校と子ども心理治療センターが連携し対応している。

<主な意見等>

- ・児童生徒の特性や発達段階による対人関係の課題が背景にある。
- ・昼休みなど集団活動場面は支援と指導の重要な機会である。
- ・話し合いによってルールづくりや関わり方を学んでいる点を評価した。

④児童生徒アンケート「楽しい学校にするためのアンケート」について

<報告内容>

- ・「授業は楽しい」「先生は話を聞いてくれる」「授業はわかりやすい」等の項目で肯定的回答が多かった。
- ・「学校でできることが増えた」と回答した児童生徒が多く、成長実感がうかがえた。
- ・自由記述では昼休みや遊びに関する要望が多く見られた。

<主な意見等>

- ・「できることが増えた」という実感を持てていることが大変意義深い。
- ・給食については、児童生徒の食経験や特性も影響していると思われる。学校とセンターが協力した食育の取組は重要である。

(2) 学校運営協議会委員からの意見

①いじめ（暴力行為）に対する生徒指導等について

<協議内容>

- ・特別支援学校では、障害特性や心理的動揺が背景となった行動との区別が難しく、本校の実態をどのように判断するかが難しい。
- ・件数の記録や判断することに業務時間が割かれることは、現場の負担や実情が見えなくなる懸念がある。

<主な意見>

- ・一律に除外するのではなく、ケースごとの丁寧な判断が必要である。県教育委員会へ実態の報告や、心理治療センターとの連携をしながら整理していくことが望ましい。
- ・現場の支援の実態が適切に反映される仕組みが必要である。

②質の高い教育のための環境整備について

<報告内容>

- ・デジタル教科書を活用し、読み上げ機能やルビ表示機能等を利用している。
- ・読み書きに困難を抱える児童生徒にとって有効な支援ツールとなっている。
- ・音声入力や教材の視覚化により学習参加が促進されている。

<主な意見>

- ・児童生徒の学びやすさにつながる有効な取組である。
- ・教員側の活用スキル向上が今後の課題である。
- ・デジタル教科書の整備や普及を期待したい。

(3) 2 学期において

- ・第 6 回うぐいす祭を 10 月 30 日に実施予定。
- ・小学部・中学部ともに林間学校や校外学習を予定している。行事を通して社会性や集団生活に必要な力を育てていく。

(4) その他

特に追加議題はなかった。

4 連絡事項

- ・今後の学校運営協議会委員の皆様の来校日を確認

5 閉会

- ・委員からいただいた意見を今後の学校運営や教育活動に生かしていく旨の謝辞が述べられ、17 時 00 分に閉会

=以上=